

総合情報基盤センターにおける グループウェア・サイボウズ Live の活用

総合情報基盤センター

技術専門職員 小野 隆久

1. はじめに

総合情報基盤センターでは、週 1 回、スタッフ打合せを行い、スケジュールや業務等の進捗状況などを確認していましたが、業務量の増加に伴って、週 1 回の打合せでは、煩雑化したスケジュールや業務等の進捗状況などをスタッフ全員が把握することが困難になってきました。

そこで、総合情報基盤センター、情報管理課、附属図書館間で円滑な情報共有を推進するため、2012 年 6 月より無料のグループウェア:サイボウズ Live の利用を開始しました。

2. サイボウズ Live について

サイボウズ Live は、グループウェアの国内シェア No1 (2012 年:35%)を誇るサイボウズ社が、無料で提供しているクラウド型 グループウェアで、SSL で暗号化された通信により安全性も保たれています。

2. 1 サイボウズ Live の利用に適した組織

- 教職員スタッフで構成されたセンター、学科、係、附属施設など
- 教職員・学生などで構成された講座、研究室、ゼミなど
- スタッフが分散しているセンター、施設など
- 複数機関等に跨るメンバーで構成された研究グループ
- 全国規模の(技術)研究会などの運営担当グループ
- 委員会、プロジェクト、イベント、サークル、ボランティア活動など

2. 2 サイボウズ Live の機能等

サイボウズ Live は、グループウェアでの情報共有に必要な機能が搭載されています。

(1) グループについて

- グループ管理者が、招待したメンバーだけで情報共有できます。
- グループは、200 人までメンバー登録できます。
- 無料でいくつもグループが作成できます。
- 複数のメンバーをグループ管理者にできます。
- グループ管理者が違うグループにもメンバーとして参加できます。

(2) グループの基本機能

- 共有フォルダ
1グループにつき、1G バイトのファイル保存領域があり、1ファイル当り 25M バイトまでのファイルが保存できます。
保存できるファイルの種類は、Office 文書、pdf、画像、テキストファイルなどです。
- 掲示板
テーマごとにトピックを作成でき、本文を他のメンバーと共同で編集したり、コメントすることができます。
掲示板の更新を、メンバーにメールで通知することができます。
- イベント
イベント等のスケジュールをメンバーと共有でき、カレンダー形式で閲覧できます。
- ToDoリスト

業務の進捗状況をメンバーと共有でき、担当者のカレンダーに表示できます。

- アンケート

行事等の日程や場所の調整、参加の確認など、メンバーの意見調整ができます。

- リンク集

グループのトップページで Web サイトのリンクを共有できます。

- グループ内検索

グループ内の投稿を検索できます。

(3) その他の機能

- 1対1でのメッセージ

グループ内メンバーや他のグループのメンバーとメッセージの交換ができます。

- マイカレンダー

個人や参加グループの予定を集約でき、Google カレンダー等と同期ができます。

- 新着情報のメール通知

サイボウズ Live の新着情報を複数のメールアドレスに送信できます。

- Facebook や Twitter との連携

Facebook や Twitter のアカウントでもユーザ登録できます。

- スマートフォン、携帯電話での利用

iPhone と Android のスマートフォンでも、アプリを使ってサイボウズ Live にアクセスできます。

携帯電話用のモバイルサイトでもサイボウズ Live にアクセスできます。

サイボウズ Live の詳細な仕様、機能については、サイボウズ Live のホームページ (<https://live.cybozu.co.jp/>) を参照してください。

3. サイボウズ Live の利用開始手順

サイボウズ Live は、下記の手順で利用開始の準備を行います。

(1) 事前準備

- グループのメンバーを募り、メンバーのメールアドレスの一覧を用意します。
- メンバーの中から、グループ管理者を決めます。
- グループ管理者は、サイボウズ Live のホームページにアクセスし、「ユーザ登録」をします。

(2) グループ管理者が行うこと

- グループ管理者は、サイボウズ Live にログインし、グループを作成します。
- グループを作成したら、メンバー名簿にメンバーのメールアドレスを登録します。
- 登録したメンバーに招待メールを送信します。

(3) 招待を受けたメンバーが行うこと

- 招待メールが届いたら、メール本文の「ユーザ登録用 URL」をクリックし、1週間以内に登録を行います。

サイボウズ Live の詳しい操作(基本、活用)マニュアル(pdfファイル)が、サイボウズ Live のホームページに用意されています。

また、サイボウズ Live の利用上の注意として、メールの送受信で使っているパスワードと同じパスワードで、サイボウズ Live にユーザ登録をしないようにしてください。

4. 総合情報基盤センターでの活用

総合情報基盤センターでは、下記のようにサイボウズ Live を使って情報共有を行っています。

(1) カレンダー、イベント機能の利用

- 定例のスタッフ打合せ、会議、業者との打合せなどの日程の共有
- メールによる当日の予定通知

(2) 提示版機能の利用

- 業務、システム運用、システム仕様などに関する意見交換や現状報告



- システム保守、システム障害発生などの通知、復旧状況の確認
 - 会議・打合せなどの議題の調整
 - 会議・打合せ資料などの共有
 - 事務連絡
- (3) ToDoリスト機能の利用
- 期限付き業務、作業、調査などを登録し、スタッフ間で進捗状況を確認
- (4) アンケート機能の利用
- 懇親会などの日程調整、参加の確認

この他にも、会議・打合せの準備として、前回の会議・打合せ以降の業務などをサイボウズ Live の掲示板、ToDoリストで確認し、議題の調整や資料作成に活用しています。

5. おわりに

総合情報基盤センターは、メインセンター(本庄)、医学サブセンター(鍋島)、情報管理課、附属図書館にスタッフが分散しているため、スタッフ間のコミュニケーション不足や情報共有を補うツールとして、サイボウズ Live はたいへん役立っています。

近年、業務のクオリティを高めるため、日々増加する業務量や目まぐるしく動く業務などを、いかに効率よく、迅速にスタッフ間で情報を共有するかが、課題となっています。

この課題の解決策として、グループウェアが活用されており、今後、サイボウズ Live の利用価値が、ますます高まっていくものと思います。